

患者様及び担当看護師様 訪問看護を利用してみませんか

入院期間が短くなっている昨今、患者様が退院後も引き続き医療や看護を継続し、安心して在宅療養できる“訪問看護サービス”の利用をすすめてみませんか。

下記のチェック項目は、担当看護師から患者様に説明し、“訪問看護”をイメージしていただくためのものです。患者様(ご家族様)とともに、現在の状態をチェックし、退院後必要な支援内容を検討され、訪問看護をご紹介して下さい。

療養状況チェック項目

生活支援の必要性

栄養： 低栄養、脱水を繰り返す
 食事療法がうまくいかない
 嚥下障害がある
 経管栄養、胃瘻栄養

排泄： 尿路感染を起こしやすい
 尿道カテーテル、膀胱瘻
 介助が必要
 排便コントロールがうまくいかない
 浣腸又は排便が必要

清潔： 入浴又は清拭の介助が必要
 口腔内が不潔になりやすい

その他 ()

医療処置等

<input type="checkbox"/> 注射（インスリン療法等）	<input type="checkbox"/> 点滴
<input type="checkbox"/> 経管栄養	<input type="checkbox"/> CV（ポート）
<input type="checkbox"/> 吸引	<input type="checkbox"/> HOT
<input type="checkbox"/> 気管カニューレ	<input type="checkbox"/> 人工呼吸器
<input type="checkbox"/> 膀胱留置カテーテル	<input type="checkbox"/> CAPD
<input type="checkbox"/> 褥瘡	<input type="checkbox"/> ストマケア
<input type="checkbox"/> 疼痛管理	
<input type="checkbox"/> その他（ ）	

服薬の管理ができない
 薬に対する理解が不十分

機能訓練

体力や身体機能が低下し、寝たきりや廃用症候群になりやすい
 リハビリを継続したい

介護状況・希望

一人暮らし、又は介護をする人がいない
 介護者が高齢である
 在宅療養の不安がある
 病状が不安定（入退院を繰り返す）
 終末期を自宅で過ごしたい
 その他（ ）

訪問看護の支援内容イメージ

- 健康状態（血圧、脈拍、呼吸など）のチェック
- 栄養状態の維持管理（医師、栄養士と連携）
- 誤嚥予防
- 尿道カテーテルの管理、尿失禁の対策やオムツ使用の方法・トイレ移動介助・尿路感染予防坐薬、浣腸、排便の指導や排便介助
- 下剤調整の相談
- 入浴指導や介助
- 清潔ケア（ベッド上の清拭や洗髪等）

- 主治医の指示により毎日処置を実施
- 医療機器のチェックや物品の確認・紹介等
- 薬の種類や量、服薬方法を確認（薬剤師と連携）
- 主治医の指示により、点滴や注射の実施

医師の指示のもとに
訪問看護師が支援します。

- リハビリ担当と連携し、機能訓練を実施
- 機能低下や寝たきり予防の生活法の説明
- 介護用具の相談

- 主治医の指示により、疼痛や症状の緩和ケア
- ご家族の不安や介護負担軽減へのサポート（ケアマネージャーや他のサービス機関と連携）

患者様が、訪問看護を希望された折は、病院地域連携室、ケアマネージャー、又は、最寄りの訪問看護ステーションへお尋ねください。

療養状況チェック項目に1つでも該当すれば、訪問看護の支援の対象になります。